総合型地域スポーツクラブ不要論

Can comprehensive regional sport clubs in Japan bring lifelong sports society?

1K09B050

指導教員 主査 武藤 泰明 先生

片山 幸太 副査 作野 誠一 先生

【研究背景】

近代の日本はオリンピックやワールドカップなどの世界大会で大きな功績を残している。このように、国際競技力が向上する一方で、日本の生涯スポーツ社会は多くの課題を抱えている。その問題とは、子どもの体力低下や運動・スポーツ習慣の未定着に起因する生活習慣病の増加などである。トップレベルでなくボトムレベルの人々にスポーツ文化が醸成されていないことや、スポーツを楽しめる環境が整備されていないことがこれらの問題を引き起こしている。

これらの問題を解決し、日本の生涯スポーツ社会を実現する重要施策として、総合型地域スポーツクラブが平成12年9月に策定された『スポーツ振興基本計画』の中で位置づけられた。

しかし、2012年現在、この計画で設定された目標である"できるだけ早期に成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%となること"と、その具体的施策として挙げられた"2010年までに、全国の各市町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成すること、また各都道府県において少なくもひとつは広域スポーツセンターを育成すること"を達成できていない。

この現状を踏まえ、本当に総合型地域スポーツクラブは日本の生涯スポーツ社会を実現することができるのかを考察した。

【調査方法】

総合型地域スポーツクラブが育成され始めてから得られた様々なデータや、総合型地域スポーツクラブに関連した事業、そして既になされた先行研究を参考に調査した。

《成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上への総合型地域 スポーツクラブの貢献度についての調査》

文部科学省の調査により得られたここ 10 年間の成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の推移と、渋谷(2012)の調査で判明した成人のスポーツクラブ加入状況と関連するデータを照らし合わせ、総合型地域スポーツクラブの成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の向上への貢献度を調査した。

《「事業仕分け」による政府の総合型地域スポーツクラブ政 策の今後の方針についての調査》

平成 22 年度から始まった政府の行政の効率化、いわゆる「事業仕分け」による総合型地域スポーツクラブ関連事業への影響を検証し、政府が下した仕分け結果から今後の総合型地域スポーツクラブ政策の方針を調査した。

《総合型地域スポーツクラブのユニバーサル性についての 調査》

日本の総合型地域スポーツクラブの見本となっている生涯スポーツ先進国のドイツのスポーツフェラインについて調査した。その上で、生涯スポーツ社会を実現するために必要不可欠であるユニバーサル性(誰もが楽しめるクラブつくり)が日本の総合型地域スポーツクラブにも備わっているかを検証した。

《総合型地域スポーツクラブの有効性を妨げる要因についての調査》

小林勉・渡辺敏明(2002)の研究を参考に、期待されていた ほどの有効性を示せていない総合型地域スポーツクラブに 潜む問題を検証した。

【結論】

調査結果から導き出されたことは、①総合型地域スポーツ クラブはスポーツ実施率の向上に未貢献②政府の総合型地 域スポーツクラブ政策からの撤退の可能性③日本の総合型 地域スポーツクラブのユニバーサル性の欠如④総合型地域 スポーツクラブに対する過度な期待が本来の目的をぼやか し、有効性を妨げている現状⑤「スポーツ非習慣層」ではな く「スポーツ習慣層」が総合型地域スポーツクラブの場を新 たな活動場所として利用している現状である。

以上の調査結果から、総合型地域スポーツクラブは生涯スポーツ社会を実現することはできないと結論づけた。

【考察】

『スポーツ振興基本計画』から12年経ち、新たに『スポーツ基本計画』が策定された。この計画の生涯スポーツ施策の目標として新たに"成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に1人となること、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人となること、また成人のスポーツ未実施者がゼロに近づくこと"が位置づけられた。この計画をもとに更なる日本スポーツ社会の発展を企んでいるのだろう。

しかし、本調査結果から生涯スポーツ社会を実現できない と導き出された総合型地域スポーツクラブ政策をこのまま 継続して、目標達成に至るのだろうか。うまくいかない状況 が続くことで、総合型地域スポーツクラブを運営する現場と 政府の間に意識の〈ずれ〉が生じ、深い溝ができはしないだ ろうか。このようにならないためにも、総合型地域スポーツ クラブ政策の代案を早急に考え出す必要があるだろう。